

第 90 回メーデー中央大会 実行委員長挨拶（大綱趣旨）

2019 年 4 月 27 日

第 90 回メーデー中央実行委員長 神津 里季生

○皆さん、おはようございます。

今年も、たいへん多くの皆さんにお集まりいただきました。本当にありがとうございます。

第 90 回メーデー中央大会～歴史を越えてつながる私たち

○皆さん、お手もとのアピールボードをみてください。大きな「90」の文字。そうです、今年
は第 90 回の中央メーデーです。

日本におけるメーデーは、99 年前の 1920 年に始まったのです。途中、弾圧を受けて開催でき
なかった時もありましたが、今回、第 90 回の節目を迎えました。大正、昭和、平成、そして令
和の時代につないでいくという記念すべきメーデー中央大会、そして連合結成 30 周年の年の
メーデーです。

○99 年のときを越えて、私たちはつながっています。先輩方の想いと運動を受け継いできた 99
年間です。弾圧をかいくぐり、そして団結を重ねてきた 99 年間です。そのもとで私たちは平和
を追求し、経済状況を建て直し、不況に立ち向かい、そして政治の混乱の悪影響をはねのけて
きたのです。

○今また私たちは様々な難題を抱えています。しかし、この 99 年間に積み上げてきた団結の力を
もってすれば、どのような状況も乗り越えられるはずです。私たちこそが、働く者こそが主役
なのであり、時代を切り拓くのは私たち自身であるという自覚をさらに高めていくなれば、ど
のような状況も乗り越えていくことができるのです。その信念をこのメーデーであらためて確
認し合いたいと思います。

SDGS～国境を越えてつながる私たち

○アピールボードのもう片方をみてください。SDGs、国連の持続可能な開発目標のカラーホイ
ールです。国境を越えて私たちがつながって、力を合わせていい世の中にしていこうという営
みです。連合はその営みの重要な一員です。国際労働組合総連合（ITUC）を中心とした世
界の労働組合の仲間との連携を深めつつ、主体的に参画し、力を発揮していかなければなりま
せん。

○とりわけ私たちが先頭に立って役割を発揮していかなければならないのは、ゴール 8、ディー
セント・ワークの促進とそのもとでの経済成長です。アピールボードではまさに指の根元のす
ぐ左側にある、黄色とオレンジ色に挟まれた「バーガンディ・レッド」という色の目標、これ
がディーセント・ワークの促進です。ディーセント・ワークを促すには、賃金をもっと上げて
いかなければなりません。労働時間を削減していかなければなりません。労働条件を改善しな
ければなりません。

- 世界のメーデーは、今から 133 年前、1886 年にアメリカの労働者が 1 日 8 時間労働を求めて闘ったゼネストが始まりです。働き方改革を全ての働く仲間のものとし、長時間労働を是正して過労死・過労自殺を根絶していくことがまず先決です。そして、全ての働く仲間が生き生きと働くことのできる世の中にしていかなければなりません。そもそも、36 協定も均等均衡待遇も、労使関係が必要なのです。労働組合が必要なのです。労働組合がないところにも従業員との対話を促していくことを第一歩に、私たちの取り組みを格段に強めていかなければなりません。
- SDGs 17 の色、つまり 17 の目標はどれも皆大事なものであり、相互に関連しているものですが、ここではもう一つだけ確認しておきたいと思います。先ほどのディーセント・ワークの右側三つめ、アルファベット「S」の横にある「レッド・オレンジ」のゴール 5、ジェンダー平等です。全ての国に共通する課題であり、世界の均衡ある発展に不可欠の課題です。そしてわが国が大きな後れをとっている課題でもあります。大きな後れをとっているということは挽回の余地が相当あるということです。打てば響く課題のはずです。国内外で目前のテーマともなっている、あらゆるハラスメントの撲滅とも大に関わる課題です。連合がしっかりとリードをして取り組んでいかなければなりません。

今この時にあっても多くの仲間が闘っている

- さて、私たちがこの祭典に集う最中においても、多くの働く仲間は働き続けています。大型連休がかきいれどきという仕事も多くあるでしょう。また一方では、人手不足のはざままで、依然として不安定な雇用や低処遇の状況に悩まされ続けている仲間も引きを切りません。貧困や格差が拡大し、民主主義が危機に瀕する今だからこそ、改めてメーデーの原点や意義を共有し、それを日本全体に波及させていかなければなりません。
- 春季生活闘争も、今まさに多くの仲間が、正念場の交渉を、懸命に展開しています。なかなかマスコミ報道からは伝わってきませんが、現時点で賃上げ幅の全体集計は昨年の中頃を上回っています。とりわけ中小の頑張りは特筆ものです。まさに今世紀最大の上げ幅です。この元気をなんとしても最後までつなぎ、日本全体に広げていこうではありませんか。
- そして 7 月には参議院選挙があります。ここに来て、立憲民主党、国民民主党を中心とした野党の力合わせが、ようやく新しいステージに向かいはじめました。その兆しがみえてきました。私たち連合と両党は、昨年政策協定を結び、与党を利さないと約束してきたことがようやく形を伴おうとしています。本格化はまだこれからですが、大きな流れ、新しい物語がはじまったのです。そして皆さん、政治そのものに対する逆風のなかで、私たちの仲間が勇気を振り絞って手を挙げてくれているのです。連日全国で仲間への呼びかけを続けているのです。なんとしても国会に送り出していきましょう。そして日本の民主主義を立て直す力につなげていきましょう！

以上をもって中央実行委員長としての冒頭のご挨拶とします。ともに頑張りましょう！
ありがとうございました。

以 上